

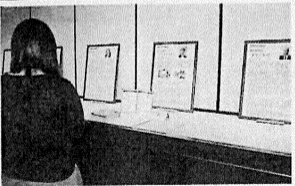
## 退職教員の業績紹介

3月23日まで

弘大で企画展

弘前市の弘前大学資料館（須藤弘敏館長）は現在、今年3月に同大学を退職する教員の研究成果などを紹介する企画展「退職教員の業績 研究と教育をかりかえる」を開いている。教員の功績をたたえるとともに、同大学の研究分野の広がりを多くの市民に知ってもらうのが目的。3月23日まで。

同大では、3月に15人の教員が退職する。企画展では、本県の「短命県返上」に取り組む医学研究科の中路重之氏や、同科の外崎敬和氏、早狩誠氏、理工学研究科の有賀義明氏、飯倉善和氏の計5人の業績をパネルで紹介している。写真も、また、執筆を手掛けた論文



や書籍、ディスプレイなどが並び、来場者の目を引いている。須藤館長は「教員が積み上げてきた研究教育と地域貢献の成果を確かめる機会。長年熱意をもって取り組んできた姿を見てほしい」と話している。

入館無料。開館は午前10時～午後4時で、日曜・祝日は休館。（三浦康平）

平成29年2月1日（水）東奥日報（19面）